

事業所における自己評価結果(公表)

—放課後等デイサービス 職員—

公表日:2020年2月29日

事業所名:リアッタ児童発達支援事業 みらころの杜

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	意見	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
1.	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1	0			
2.	職員の配置数は適切である	2	2	0			
3.	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	0	4			現在施設設備等の環境改善を行っている途中であり、杜の施設に関してもバリアフリー化の配慮を行う予定です。
4.	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	2	0		管理者・責任者を中心に、正職員の業務終了時に10~20分程度の振り返りを行ない、次回の業務につなげています。パート職員は、出勤時に情報共有を行っている。	
5.	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1	0		年1回評価表による事業所の評価を行ない、業務改善を行っている。	
6.	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	2	1			ホームページがあることを知らない職員・保護者がいるため、更新が終わったら通信物等を通じ連絡を行う。また、SNSを使用し公開も検討中。
7.	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2	0			第三者の評価を頂けるよう、社内他事業部の職員等に療育の評価を行っていただきたいと考えています。
8.	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	0		月1回の学習会と年に数回の外部研修を行っています。	

9.	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	2	1	1		定期的に保護者との面談や電話連絡等を行ない、アセスメントを行っています。送迎担当職員によるニーズの把握を行い職員間で共有しています。相談支援事業所等との統一した支援が出来るような支援計画を作成しています。	
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0	3	1			現在アセスメントツールはありませんでしたので、今後作成し対応していきます。
11	活動プログラムの立案をチームで行っている	1	2	1		集団指導担当の指導員が大まかに決めた活動を職員間で意見を出し立案している。	
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	1	3	0			運動活動等まだ取り入れられていない活動を新しい活動として取り入れていき、固定化しないよう工夫していきます。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	2	0		平日、休日、長期休暇では行事企画等により内容に変化を付けています。	
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	1	3	0			児童の障害や特性に応じて、集団・少人数・個別での療育を提供できるよう改善していきます。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1	0			前日の打ち合わせをしっかりと行ない、打ち合わせに参加できない職員には翌朝説明し共有する。

16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2	0		その日の児童の様子や業務内容の気づき等を共有し、次回の療育や業務の改善に結び付けています。	
17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	1	3	0		支援の中で疑問点等があった場合は話し合い、療育につなげています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断している	2	1	1			モニタリングは定期的に行っていますので、内容を職員間で共有していきます。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	0	4	0			ガイドラインを知らない職員もいるため内部研修等で学習し、支援のあり方を再度検証します。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	1	1			担当者会議等開催時には児童発達支援管理責任者が出席しています。
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	2	2	0		保護者を通しての連絡や、直接各学校の教頭や担任教諭等に連絡し、その都度対応しています。 児童発達支援管理責任者を中心に学校見学を行ったり、学校の教諭が支援の様子を見学しに来訪したり等の交流の機会を設けています。	
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	1	1			

23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	2	1		施設間での移籍の際には職員間で情報共有を行ない療育の提供をしています。	必要に応じて、児童発達支援管理責任者を中心に連携をとり情報共有を行います。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	4	0			現在移行する児童はおりませんので、今後移行する場合には情報提供していきます。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	3	0		研修には積極的に参加しています。	おおぞら園との連携は今後も児童発達支援管理責任者を中心に行ない、関係を密にしていきます。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	3	1			休日等には積極的に公園等に外出しておりますが、障害のない児童との交流の機会は少ないため、積極的に機会を設けて保護者にお知らせしていきます。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	0	3			開催情報を把握し、機会がありましたら参加していきたいです。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	1	0			
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	2	0			現在は行っておりませんでした。必要であれば保護者懇親会等開催時に情報提供等を行ない支援していきます。
30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2	2	0			運営規定等の説明は管理者より行なっているため、その内容を職員間で共有し、把握できるようにします。

31	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	2	0			子育ての相談等保護者からの相談には責任者を中心に適切に対応させて頂いていますのでその内容を職員間で共有し、把握できるようにします。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	2	1		年1回のクリスマス懇親会等開催し保護者同士が顔を合わせる機会は定期的に設けています。	父母の会等の活動に参加できる機会がありましたら、積極的に参加していきたいです。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0		苦情があった際には、迅速かつ適切に状況の説明をした上でご理解が得られるよう対応しています。また、職員間で改善策を検討し保護者にお伝えさせていただいています。	
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1	0			通信の発行を定期的に行ない、保護者に安心していただけるよう配慮いたします。
35	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	0			
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	0			
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	2	2			行事企画を行ない、招待できるものがあれば開催したいと思います
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	2	1	1			マニュアルに関しましては、HP等に記載していきたいと考えております。訓練につきましては、年2回防火管理者の計画の元実施しておりますので通信に記載し、保護者に対しお知らせしていきます。

39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	1	0			年2回の訓練につきましては、通信に記載し、保護者に対しお知らせしていきます。HPにも記載していく。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0	1		虐待防止委員会の設置を行ない、外部研修等にも積極的に参加しています。定期的に虐待の内容を取り上げた内部研修も企画しています。	
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	2	0			計画には記載しておりませんが、契約時や計画の説明時に口頭で保護者に対し身体拘束の可能性について丁寧に説明を行ない、了承を頂いています。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1	0		医師の指示書等は管理できていませんが、保護者や看護師と連携し、児童の体調管理を行っています。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	2	0		ヒヤリハットや事故報告書の書類を作成し、まとめてファイルに保管しいつでも振り返ることが出来るようにしています。また、月一回の全体会議を行った際にはその月にあった事例を報告し対応について共有しています。	